4chデジタルワイヤレスシステム
ワイヤレスパンチルトカメラ＆モニターセット

ROOM EYE2 TR-X50PTC/TR-X50M

取扱説明書（保証書付）

TR-X50PTC

TR-X50M

特長

- ■ ノイズの影響を受けにくい、2.4GHｚ帯デジタル方式。
- ■ 電波の最大到達距離は、約 200m。（見通し環境による）
- ■ 送信機、受信機が相互に ID を認識して通信（ペアリング）するので、外部に映像が漏れません。
- ■ 屋外軒下設置用カメラ（TR-X50WCP）、屋外軒下設置用送信機（TR-X50T）と組み合わせ可能。
- ■ カメラ 4 台同時接続でき、4 分割画面で表示できます。
- ■ SD/SDHC カードへの録画可能。（最大 32GB）（手動録画 / センサー録画）
- ■ 7 インチ液晶モニター内蔵。配線は電源アダプターを差し込むだけ。
- ■ エコモード機能により、留守中はエコで安心。

カメラ特長

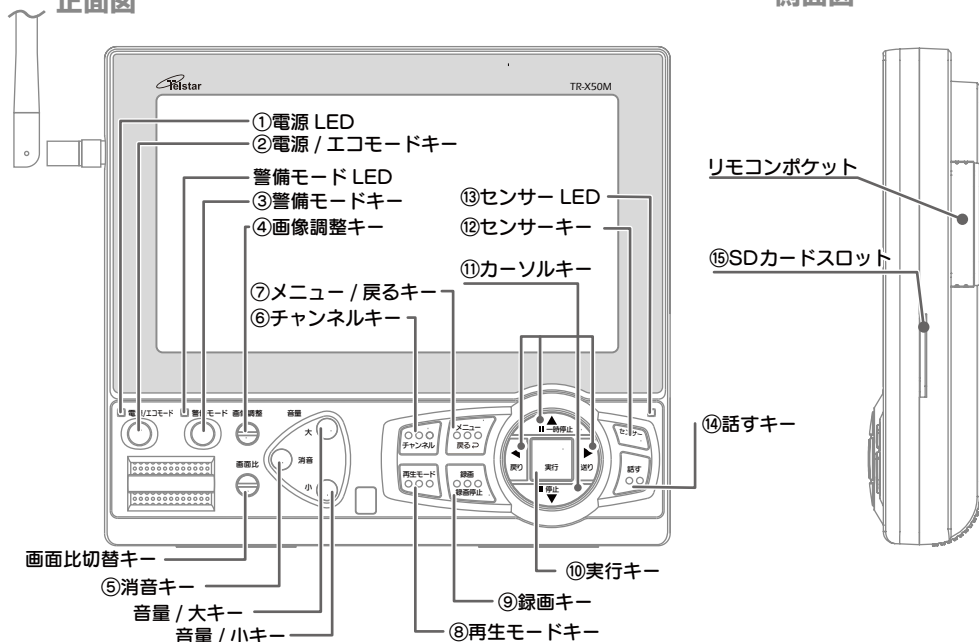
- ■ 無線にて受信機よりパンチルト（240 度 /110 度）操作ができ、広範囲をモニターできます。
- ■ スピーカー、マイク内臓で、双方向での音声通信が可能。（同時通話不可）
- ■ 赤外線投光により、暗い屋内の監視も可能。（投光距離約4m）
- ■ モーションセンサー内蔵により、映像に変化があった場合の録画、または信号送信が可能。
- ■ 画像反転機能搭載。天井付けなどにも対応します。

※製品改良のために、予告なく外観/仕様等を変更することがあります。

2.4 FH 8

ご使用の前に

各部の名称と機能

TR-X50M

①電源 LED	:	電源がオンのときに点灯、エコモードのときに点滅します。
②電源 / エコモードキー	:	電源のオン / オフ（電源をオフにする場合は、長押し約３秒） 電源オンの時に押すと、エコモードになります。
③警備モードキー	:	警備モードのオン / オフを行います。
④画像調整キー	:	モニターの画像の調整を行う際に押します。
⑤消音キー	:	音声を一時的に「消音」状態にします。
⑥チャンネルキー	:	モニターに映るチャンネルの設定を行います。 １ｃｈ⇒２ｃｈ⇒３ｃｈ⇒４ｃｈ⇒※Quad⇒１ｃｈ・・・・の順番で切り替わります。 長押し（3 秒以上）:※オートシーケンス **※オートシーケンス：表示チャンネルを一定時間毎に切り替えます。** **※Quad：4 分割画面表示**
⑦メニュー / 戻るキー	:	機能の設定メニューに入ります。 設定メニュー内で押した場合、そのメニューからひとつ上の階層に戻ります。
⑧再生モードキー	:	再生モードに入ります。**［メニュー / 戻るキー］**でモードから出ます。
⑨録画キー	:	録画を実行します。もう一度押すと録画を停止します。
⑩実行キー	:	各種コマンドを実行する際に押します。
⑪カーソルキー	:	画面上のカーソルを移動する際に押します。 **再生モード時**：各キーに表示されている機能が再生ファイルの操作に割り振られます。 **単画面表示時**：パン / チルト操作（⇒P.39） **TR-X50PTC** を接続したチャンネルを単画面表示している場合に可能。

ご使用の前に

各部の名称と機能

TR-X50M

裏面図

壁掛け用穴

スタンド取り付けネジ穴

センサー出力端子

センサー入力端子

映像 / 音声出力端子

電源入力端子

⑯ラインフック

---

⑫センサーキー　：「**センサー送信先**」で設定された端末に信号を送信します。（⇒P.28）

⑬センサー LED　：警備モード中にセンサー入力があった場合に、点灯してお知らせします。

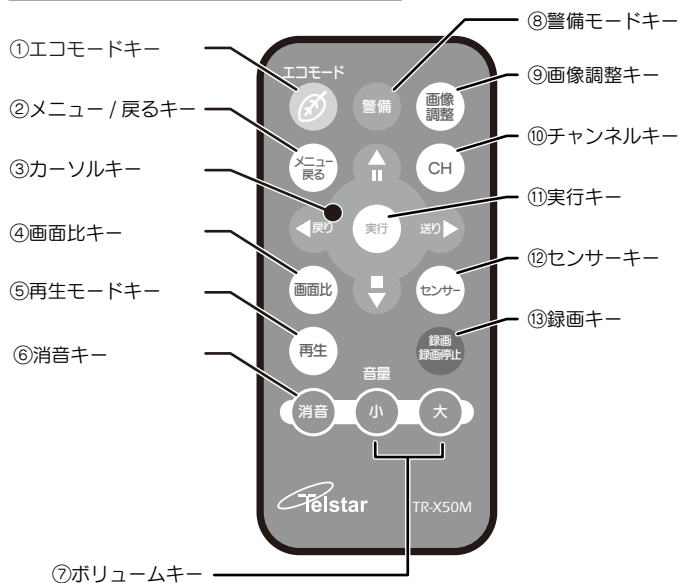
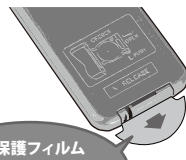
⑭話すキー　：現在映っている画面のチャンネルに、音声を送信します。

⑮SDカードスロット　：SDHC メモリーカードを装着するところです。
※本書では、特に断わりのない限り、SDHC カードを SD カードと称します。

⑯ラインフック　：配線時、コードを引っ掛けるなどして、配線の整理をするのに利用します。

ご使用の前に

各部の名称と機能

TR-X50M リモコン

①エコモードキー　：　エコモードのオン／オフ

②メニュー / 戻るキー：　機能の設定メニューに入ります。
設定メニュー内で押した場合、そのメニューからひとつ上の階層に戻ります。

③カーソルキー　：　画面上のカーソルを移動する際に押します。
再生モード時：各キーに表示されている機能が再生ファイルの操作に割り振られます。
単画面表示時：パン / チルト操作（⇒P.39）
TR-X50PTC を接続したチャンネルを単画面表示している場合に可能。

④画面比キー　：　モニター上の画面の比率を切り替えます。

⑤再生モードキー　：　再生モードに入ります。**［メニュー / 戻るキー］**でモードから出ます。

⑥消音キー　：　音声を一時的に「消音」状態にします。

⑦ボリュームキー　：　音声を調節します。大：音量大きく　小：音量小さく

⑧警備モードキー　：　警備モードのオン / オフを行います。

⑨画像調整キー　：　モニターの画像の調整を行う際に押します。

⑩チャンネルキー　：　モニターに映るチャンネルの設定を行います。
１ｃｈ⇒２ｃｈ⇒３ｃｈ⇒４ｃｈ⇒※Quad⇒１ｃｈ・・・・の順番で切り替わります。
※Quad：4 分割画面表示

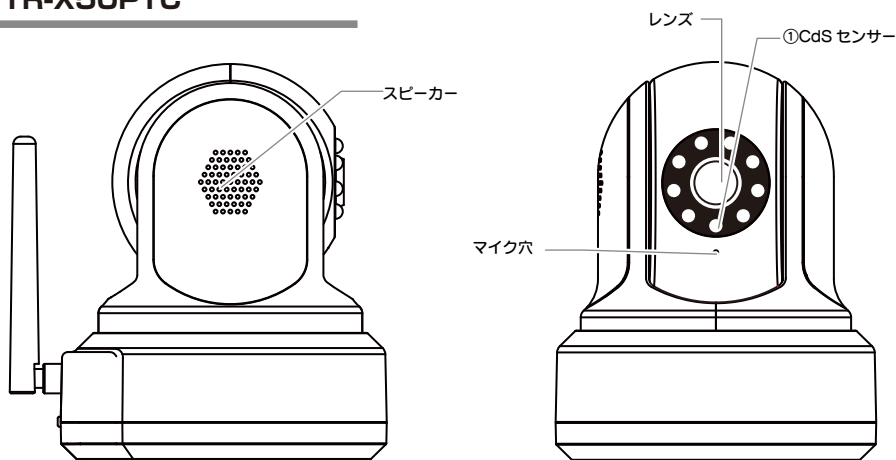
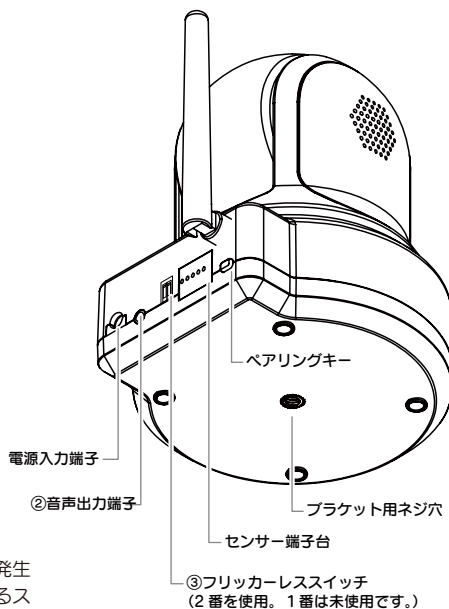
⑪実行キー　：　各種コマンドを実行する際に押します。

⑫センサーキー　：　**「センサー送信先」**で設定された送信機に信号を送信します。（⇒P.29）

⑬録画キー　：　録画を実行します。もう一度押すと録画を停止します。

ご使用の前に

各部の名称と機能

TR-X50PTC

①CdS センサー	：	光に反応するセンサー。防犯カメラの場合、暗くなると赤外線投光器が起動するように設定されています。
②音声出力端子	：	φ3.5mmミニジャック
③フリッカーレススイッチ	：	蛍光灯等の光で撮影した時に発生する画面のちらつきを抑制するスイッチです。お住まいの地域の電源の周波数に合わせてください。（50Hz/60Hz）（⇒P.20）

内蔵モーションセンサー：　モーションセンサー（動体検知機能）とは。映像の変化を検知し、信号を送信する機能です。受信機側から「On/Off」が可能です。

各部の名称と機能

ライブ画面のアイコンの説明　単画面表示時

電波状態アイコン
受信機が受信している電波の強さを示すアイコンです。
バーが４本表示されている時が最良の状態です。

録画アイコン
録画中であることを示すアイコンです。

SD カードアイコン
SD カードが挿入されている状態を示すアイコンです。

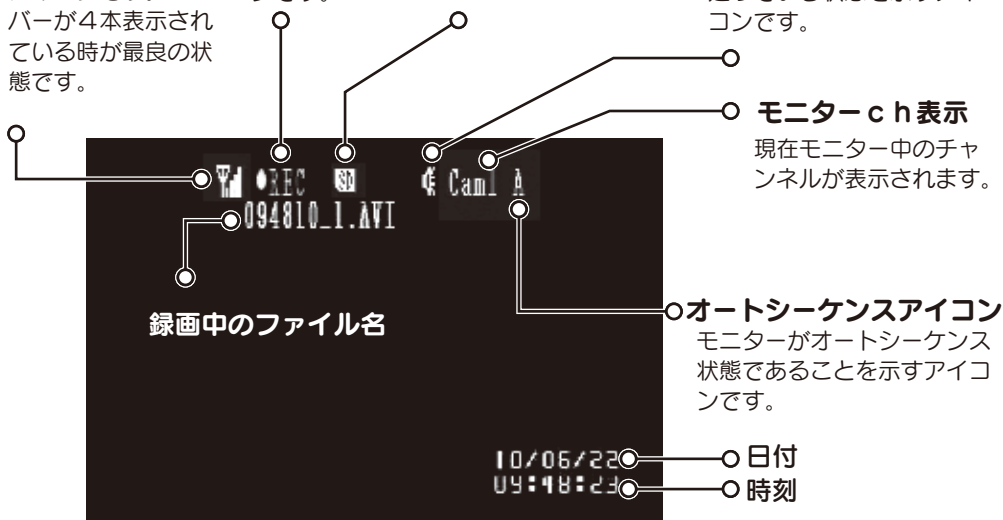
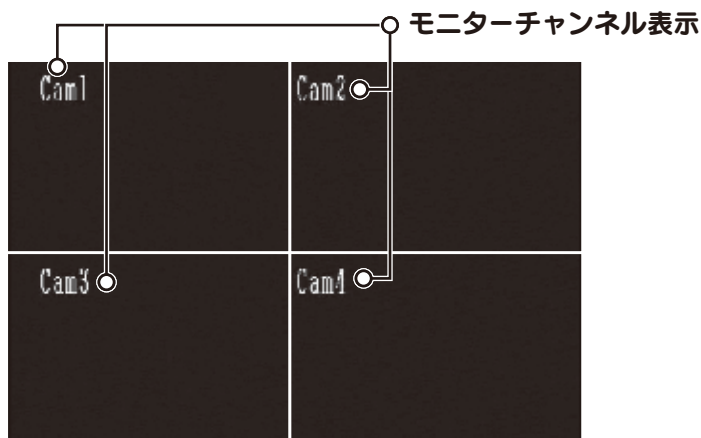
スピーカーアイコン
[**話す**] キーを押し、受信機側の音声を、送信機側に送っている状態を示すアイコンです。

モニターｃｈ表示
現在モニター中のチャンネルが表示されます。

●REC　SD　Cam1　A
094810_1.AVI

録画中のファイル名

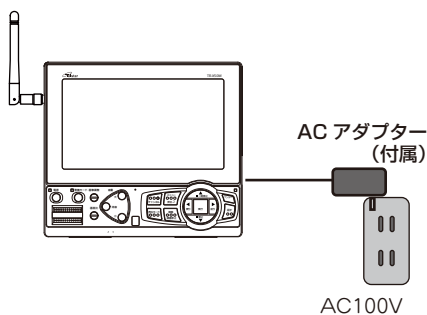
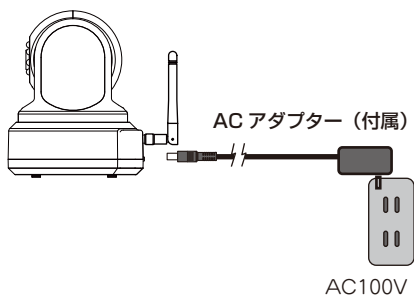
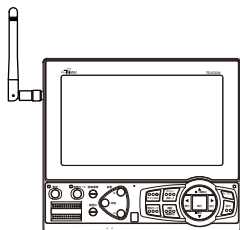
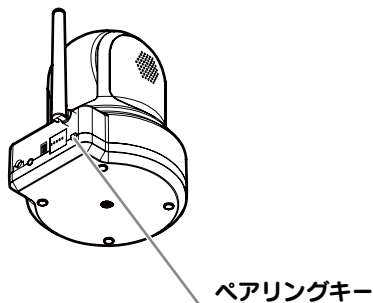
オートシーケンスアイコン
モニターがオートシーケンス状態であることを示すアイコンです。

10/06/22　日付
09:48:23　時刻

ライブ画面のアイコンの説明　４分割画面表示時

注意　**この項の図は、機能を説明するために、すべての表示を仮に表示したものです。実際の表示では、同時に表示されない組み合わせ等が存在します。**

機器の仮接続 / ペアリング

手順

ペアリング (⇒P.22) を行ってから送信機を設置することをお薦めします。

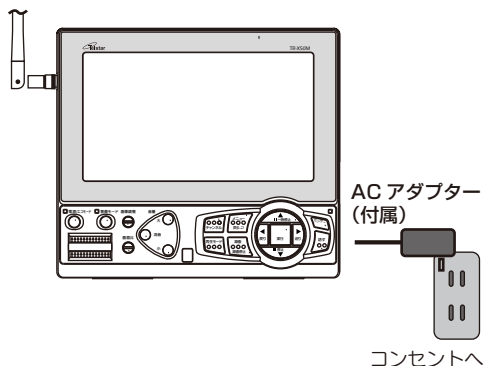
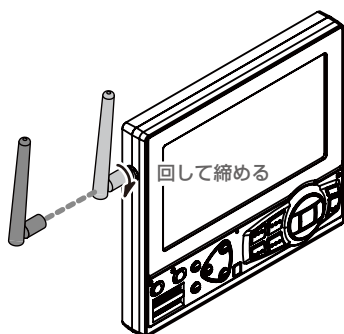
1. 受信機：
アンテナの装着、付属のＡＣアダプターを接続し、稼働状態にします。

2. 送信機：
アンテナの装着。
付属のＡＣアダプターを接続し、稼働状態にします。

3. 受信機：
設定 /[ペアリング] を設定します。
(⇒P.22)

4. 送信機：
ペアリングキーを押します。

ペアリング情報は、電源を切っても保存されます。

ご使用までの準備

接続 TR-X50M

受信機の接続

1. アンテナを取り付けます。

2. 電源を接続します。

接続図

センサー端子台

外部接続機器をご使用になる場合に使用する端子です。

入力 NO
入力 GND
出力 GND
出力 NC
出力 NO

映像 / 音声出力端子

別途、モニターやレコーダーをご使用になる場合に接続します。

モニター / レコーダー等⇒

映像出力端子(黄)

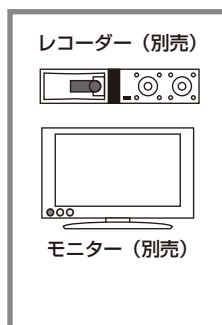
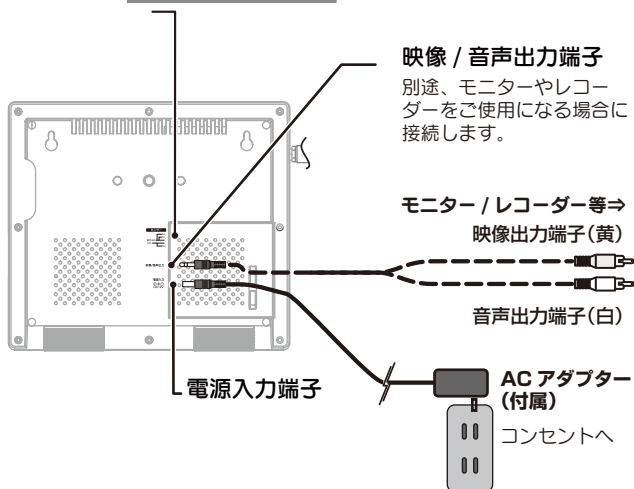
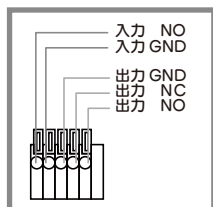
音声出力端子(白)

レコーダー（別売）

モニター（別売）

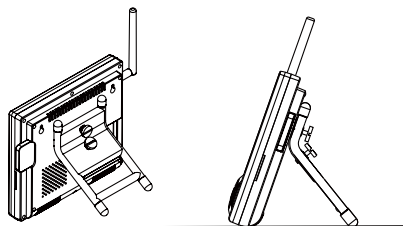
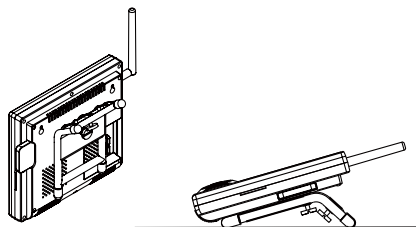
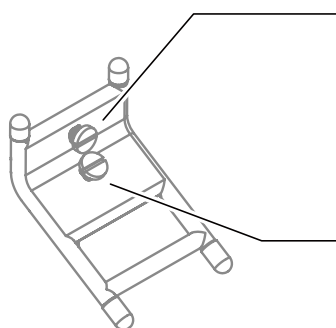
電源入力端子

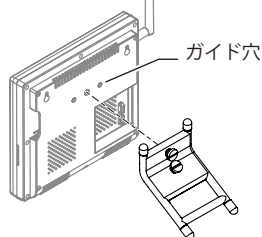
AC アダプター（付属）

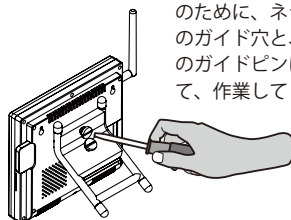
コンセントへ

設置 TR-X50M

スタンド　TR-X50M

TR-X50M 付属のスタンドは、２通りのモニター設置角度を選べます。

傾き小

傾き大

スタンドの取り付け

1

スタンド取り付けネジ穴に、希望の角度になる様に、スタンドのネジを取り付けます。

2

ネジをドライバー等で締めます。
位置合わせと、回転防止のために、ネジ穴の両脇のガイド穴と、スタンドのガイドピンにあわせて、作業してください。

設定メニュー

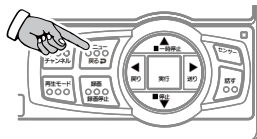
ペアリング

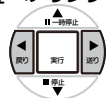
ペアリング

各送信機のチャンネルの割り振りを行います。

選択可能チャンネル：１ｃｈ～４ｃｈ
対象機種：TR-X50WCP/TR-X50PTC/TR-X50T

1

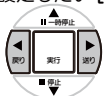
[**メニュー / 戻る**] キーを押す。

2

[**ペアリング**] アイコンを選択。

を押して選択します。

⇓

［**実行**］キーを押す。

3

設定したい **[CH]** アイコンを選択。

を押して選択します。

⇓

［**実行**］キーを押す。

4

選択中の CH に設定する送信機の [**ペアリングキー**] を 30 秒以内に押します。

ペアリングキャンセルは、**[メニュー / 戻る**] キーを押します。

対象機種：TR-X50PTC/TR-X50WCP/TR-X50T

重要

- 初めてご使用になる前には、必ずペアリングを行ってください。
  ペアリングを行わない場合、送信機を認識できず、映像を受信できません。
- 1 台の受信機に最大 4 台までの送信機をペアリングすることが出来ます。複数の受信機に 1 台の送信機を同時にペアリングする事は出来ません。
- 電源を切ってもペアリング情報は保持されます。
- ペアリングの「変更 / 再設定」をしたい場合は、再度ペアリングを行えば、変更できます。

［警備モード］ON で機能します。⇒P.40

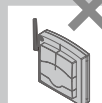
センサー設定

モーションセンサー

各チャンネルにペアリングされたカメラのモーションセンサー機能の「オン / オフ」を設定します。

モーションセンサーとは

映像の変化（映像中の動き等）を検知し、信号を送信するシステムです。

対象機種

1 ［**メニュー / 戻る**］キーを押す。

2 ［**センサー設定**］アイコンを選択。

を押して選択します。

⇓

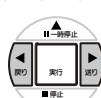
［**実行**］キーを押す。

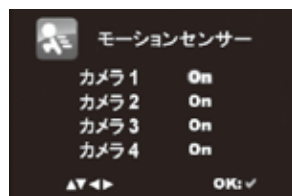
3 ［**モーションセンサー設定**］アイコンを選択。

を押して選択します。

⇓

［**実行**］キーを押す。

4 各チャンネルのモーションセンサーの「オン / オフ」を設定します。

⇓ 項目選択　　on/off 選択

［**実行**］キーを押す。

重要

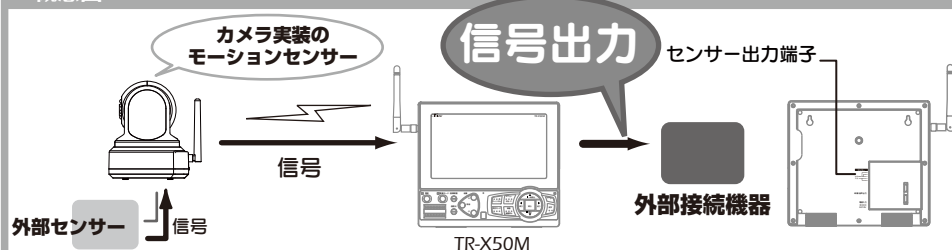
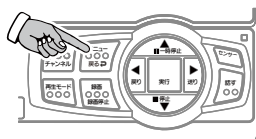
- 本機のモーションセンサーには、感度調整 / エリア調整の機能はありません。
  ご使用になる環境によっては、「過剰に検知する」、「まったく検知しない」等、内蔵モーションセンサーの使用に適さない場合があります。その場合は、別途外部センサーをご使用ください。
- TR-X50T 接続のチャンネルは、モーションセンサー機能が無いため無効となります。

[警備モード] ON で機能します。⇒P.40

センサー設定

外部出力

送信機側の「モーションセンサー / 外部センサー」からの信号受信によって、受信機の「**センサー出力端子**」に接続された外部接続機器に、信号を出力する設定を行います。

概念図

1 [**メニュー / 戻る**] キーを押す。

2 [**センサー設定**] アイコンを選択。

を押して選択します。

⇓
［**実行**］キーを押す。

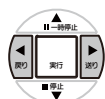
3 [**外部出力**] アイコンを選択。

を押して選択します。

⇓
［**実行**］キーを押す。

4 **モーションセンサー　on/off**
センサー受信　on/off
任意に設定。

項目選択　　on/off 選択

⇓
［**実行**］キーを押す。

モーションセンサー　on/off
カメラのモーションセンサーからの信号受信で、信号を出力する設定。

センサー受信　on/off
送信機側に接続した外部センサーからの信号受信で、信号を出力する設定。

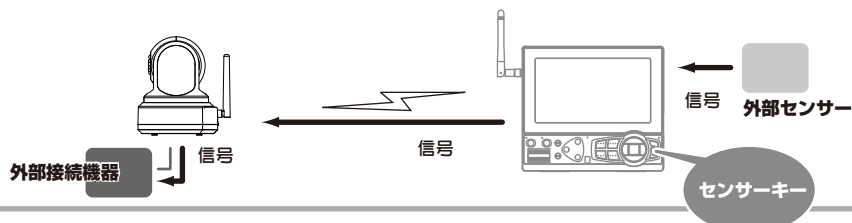
外部出力
モーションセンサー off
センサー受信 off
OK: ✓

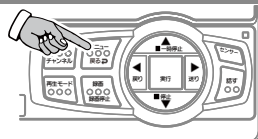
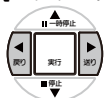
設定メニュー

センサー設定

センサー送信先

受信機に接続された外部センサー機器から、信号の入力が受信機にあった場合、または、受信機の [センサー] キーを押した時に、信号を送信するチャンネルを設定します。

概念図

設定内容
1ｃｈ／2ｃｈ／3ｃｈ／4ｃｈ／Ｐ (1画面表示されているチャンネルに送信 4 画面表示時は無効です。)

1 **[メニュー / 戻る]** キーを押す。

2 **[センサー設定]** アイコンを選択。

 を押して選択します。

⇓

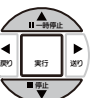
[実行] キーを押す。

3 **[センサー送信]** アイコンを選択。

 を押して選択します。

⇓

[実行] キーを押す。

4 任意のチャンネルに設定。

チャンネル選択

on/off 選択

⇓

[実行] キーを押す。

重要

- 送信先に指定できるのは、1つのチャンネルのみです。
- 同時に複数のチャンネルには送信できません。
- 設定値が **[P]** の場合、4 画面表示時に信号送信はできません。

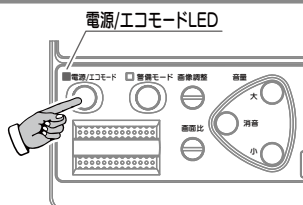
機器の使い方

電源 / エコモード

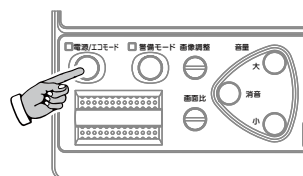
電源の ON/OFF

1 **電源 ON**

[**電源**] キーを押します。

[**電源 / エコモード LED**] が点灯します。

2 **電源 OFF**

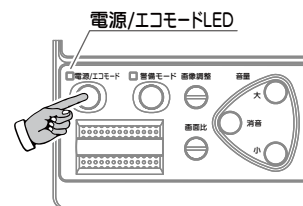
[**電源**] キー約 3 秒間長押しします。

[**電源 / エコモード LED**] が消灯します。

エコモード

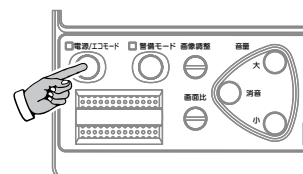
エコモード：
TR-X50M を作動状態のまま、消費電力を約 40%低減する機能です。
お出かけの際や、警備モード中にご使用になると節電になります。
エコモード時は、モニターの映像が見えなくなり、キー操作を受け付けなくなります。
但し、[**電源 / エコモード**] キーの操作は可能です。

1 **エコモードを ON にする**

通電中に [**電源**] キーを押します。

[**電源 / エコモード LED**] が点滅します。

2 **エコモードを OFF にする**

エコモード中に [**電源**] キーを押します。

[**電源 / エコモード LED**] が、点滅状態から点灯状態になります。

機器の使い方

画像調整 / 音量調整

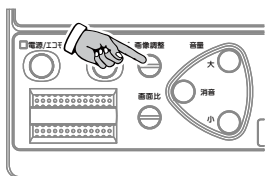
画像調整

モニターの画像を調整します。　※外部モニターには影響しません。

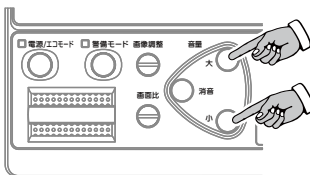
設定内容
明るさ　コントラスト　色の濃さ　色合い

1

[画像調整] キーを押し、調整したい項目のメニューに合わせます。

[画像調整] キーを押す毎に、
明るさ⇒コントラスト⇒色の濃さ
⇒**色合い**・・・とカーソルが移動します。

2

[音量 大 / 小] キーを押し、
適宜な値に調整します。

約１０秒後、何も操作しなければ、自動で画像調整メニューから抜けます。

注意

映像の色調について
映像の色調は、ご使用のモニターや光源（太陽光・各種照明機器等）の状況により変化します。

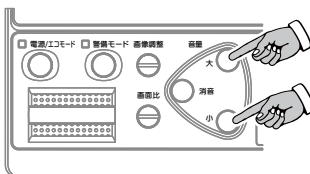
音量調整

音量の大きさを調整します。

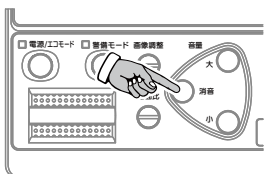
1

[音量 大 / 小] キーを押し、
適宜な値に調整します。

画面上に、現在の音量を示すグラフが表示されます。

約１０秒後、何も操作しなければ、自動で画像調整メニューから抜けます。

消音 : 一時的に消音する機能です。

[消音] キーを押すと、消音状態になります。

再度 **[消音]** キーを押すと、消音状態が解除されます。

機器の使い方

モニターする

モニターするチャンネルを選択する

１ｃｈ⇒２ｃｈ⇒３ｃｈ⇒４ｃｈ⇒※Quad⇒１ｃｈ・・・・の順番でモニター画面が切り替わります。

※Quad：４分割画面表示　※オートシーケンス（自動チャンネル切替）：P.32 参照

モニターするチャンネルを選択する。

[チャンネル] キーを押す。

[チャンネル] キーを押す度に、

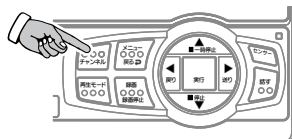
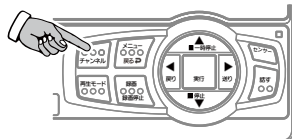
１ｃｈ⇒２ｃｈ⇒３ｃｈ⇒４ｃｈ⇒Quad⇒１ｃｈ・・・

の順番で切り替わります。

※オートシーケンスにする。

オートシーケンスを行う：**[チャンネル]** キーを３秒以上長押し。

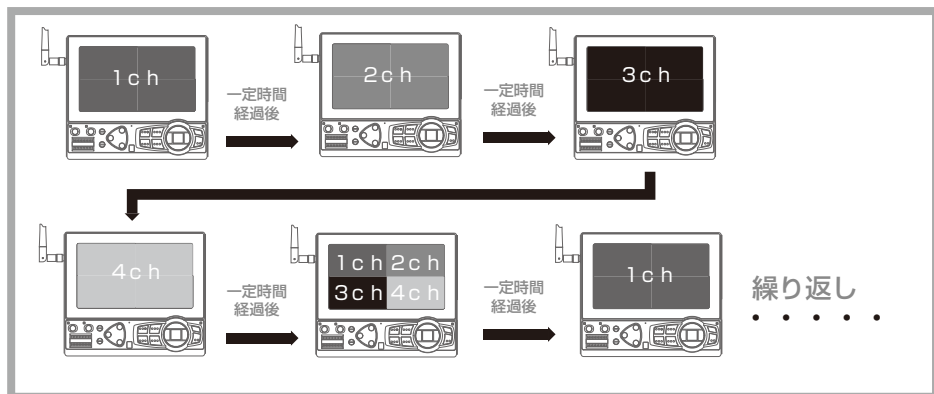
オートシーケンスの解除：**[チャンネル]** キーを押します。

オートシーケンス関連項目⇒P.32

３秒以上の長押し

オートシーケンス（チャンネル自動切換え）

モニターに表示するチャンネルを、一定時間毎に自動で切り替えて表示する機能です。

画面の切り替わる時間は、**[設定メニュー / 各種設定 / オートシーケンス]** で設定します。⇒参照Ｐ.32

重要

- ペアリングされた送信機が１台の場合、オートシーケンスは、作動しません。
- 複数台の送信機を接続している場合で、ペアリングされていないチャンネル（空きチャンネル）がある場合、空きチャンネル及び、４分割画面はスキップします。
- 警備モード中はオートシーケンス機能は使えません。

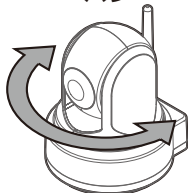
機器の使い方

パン / チルト

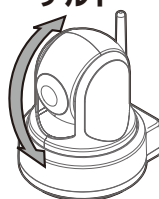
パン / チルト操作　一般

TR-X50PTC と接続されているチャンネルをモニター中に、TR-X50PTC のカメラの向きを操作する、パン / チルト操作を行えます。モニター上で見たい方向のカーソルキーを押してください。カメラの向きがかわります。

[4 方向] キーを押す。

カメラの左右
（パン操作）

カメラの上下
（チルト操作）

例：右方向が見たい場合

右矢印を押します。

例：上方向が見たい場合

上矢印を押します。

パン / チルト操作　天井付けの場合

天井付けなどで、カメラを逆さまに設置した場合の操作。
モニターの画像の設定：画像反転 (⇒P34) [上下左右反転]

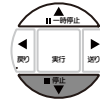
上記の条件の場合、操作は逆になります。

例：右方向が見たい場合

左矢印を押します。

例：上方向が見たい場合

下矢印を押します。

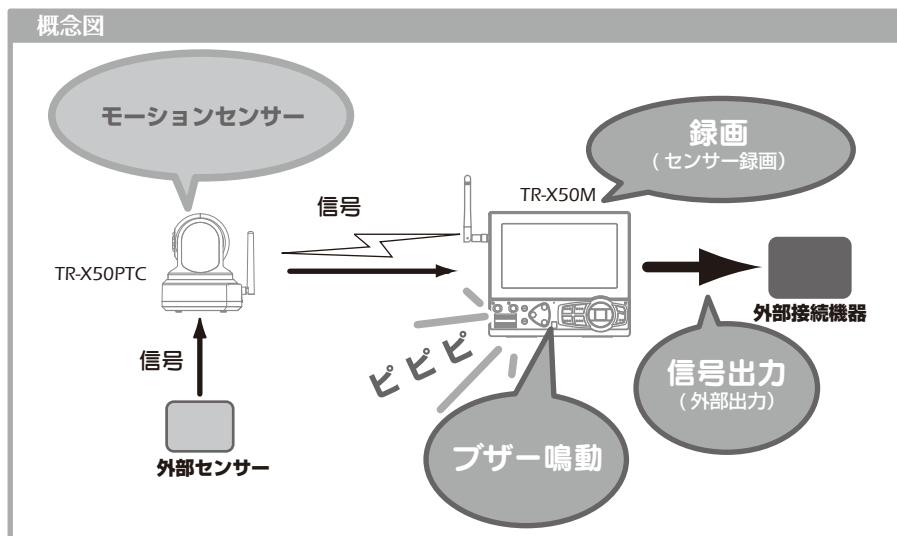
重要

警備モード時 /4 分割画面時は、パン / チルト操作はできません。

機器の使い方

警備モード

警備モードとは

監視装置として稼動させるための機能です。
センサーを使った録画機能や、信号出力、ブザー鳴動等を設定にしたがって稼動状態にします。

概念図

[警備モード] には、下記の機能設定が反映されます。各項をご理解のうえ、ご利用ください。

センサー録画

送信機側のセンサーの信号受信によって録画を行う機能です。

[センサー録画設定]⇒P.25　[センサー録画時間]⇒P.26
[モーションセンサー]⇒P.27

外部出力

送信機側のセンサーの信号の受信によって、本機に接続された外部接続機器に信号を出力する機能です。

[モーションセンサー]⇒P.27　[外部出力]⇒P.28　[外部出力時間]⇒P.30

ブザー鳴動

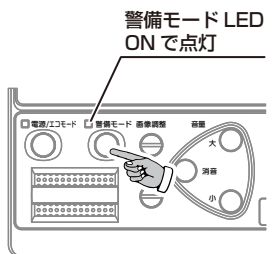
送信機側のセンサー信号を受信した場合に、受信機のブザーを鳴動させる機能です。

[モーションセンサー]⇒P.27　[ブザー鳴動]⇒P.31

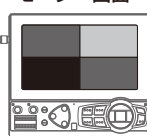
警備モード ON/OFF

警備モードをONにする

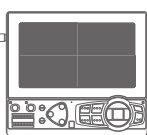
[**警備モード**] キーを押す。

警備モード LED
ON で点灯

1

警備モード ON
モニター画面が、4分割画面になります。

モニター画面

2

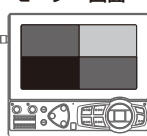
センサー信号の受信があった場合、そのチャンネルの画面に切り替わります。

モニター画面

録画をする場合
設定した録画時間の録画が終了するまで、単画面表示状態になります。

録画をしない場合
３秒間、単画面表示状態になります。

3

録画処理終了後。
モニター画面は、4分割画面にもどり、センサー信号の受信待ちの状態になります。

モニター画面

警備モードを OFF にする

警備モード中に [**警備モード**] キーを押す。

⇒[**警備モード**] 解除⇒[**警備モード LED**] 消灯

重要

警備モード時の注意

警備モード時に、本機は下記に示す項目の動作が通常と動作が異なります。

●パン / チルト操作はできません。

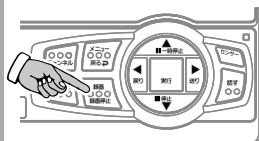
●画面切替 / オートシーケンスが出来ません。

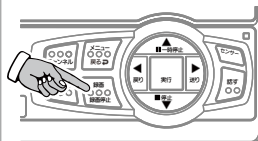
●**センサー送信先**の設定が［P］の場合は、4 分割画面表示中は信号送信は無効となり、1 画面ポップアップ時に該当チャンネルに信号を送信します。

録画

手動録画

録画を任意でおこないます。
現在モニターされている映像を録画したいときに使用します。

1 録画を開始する。
[録画 / 録画停止] キーを押す。

重要
手動録画を行う際は、必ず単画面表示状態にしてください。

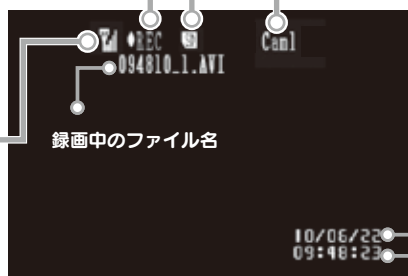
2 録画を停止する。
録画中に **[録画 / 録画停止]** キーを押す。

録画画面の説明

録画アイコン
録画中であることを示すアイコンです。
- **REC が表示される前に、カードの状態によって [ーーーー] が表示される場合があります。**
- **[ーーーー] は、録画準備中を示しています。**

電波状態アイコン
受信機が受信している電波の強さを示すアイコンです。
バーが4本表示されている時が最良の状態です。

SD カードアイコン
SD カードが挿入されている状態を示すアイコンです。

モニターｃｈ表示
現在モニター中のチャンネルが表示されます。

日付
時刻

重要
- SD カードは、必ず本機でフォーマットしてからご使用ください。
- 録画中に SD カードは絶対に抜かないでください。
- 録画中の操作は、モニター中のチャンネルに対してのみ有効です。
- 手動録画を行う際は、必ず単画面表示状態で行ってください。

重要

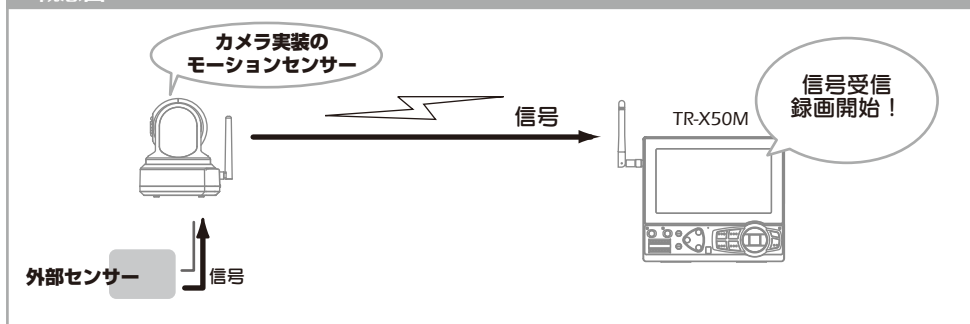
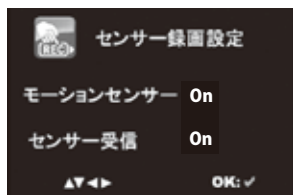
録画ファイルについて
- 録画ファイルは、10分間録画すると、次のファイルを作り録画を継続します。
- 継続した録画の場合、録画ファイルと次の録画ファイルの間が 5 秒～20 秒間隔が空く場合があります。
- カードがいっぱいになった場合、古いファイルから順番に上書きされます。
重要なファイルは、バックアップする事をお勧めします。

［警備モード］ONで機能します。⇒P.40
録画

センサー録画を行う

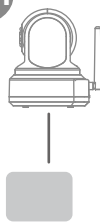
モーションセンサー / 外部センサーの信号受信によって録画します。

［**センサー録画設定**］⇒P.25 ［**センサー録画時間設定**］⇒P.26 ［**モーションセンサー**］⇒P.27

概念図

関連する設定と例

センサー録画設定
⇒P.25
録画に利用したいセンサーを ON にします。

センサー録画時間
⇒P.26
１回の検知で録画する時間を設定します。

モーションセンサー
⇒P.27
カメラ内蔵のモーションセンサーを利用し画像の録画を行いたい場合は、モーションセンサーを ON にします。
（各チャンネル毎の指定）

例）左に示す設定の場合

1ch
モーションセンサーと外部センサー、どちらかの信号受信で録画を１分間行います。

重要

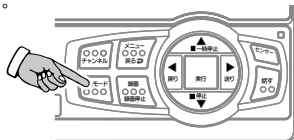
- 設定後は、警備モードを ON にしてください。
  ⇒P.40/P.41 参照。
- 録画に併せ、ブザーを鳴らす場合。
  ⇒P.31 参照。

録画した映像を再生する。

再生

1

［**再生モード**］キーを押す。

重要

再生をする場合は、必ず単画面表示にしてください。

2

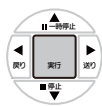
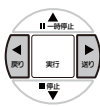
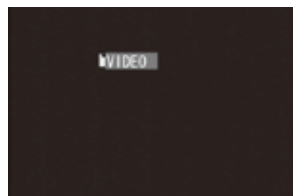
VIDEO フォルダーを選びます。

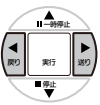
項目選択

ページ切替

⇓

［**実行**］キーを押す。

VIDEO

3

ファイルが保存されている**フォルダー**を選びます。

項目選択

ページ切替

⇓

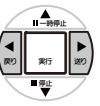
［**実行**］キーを押す。

- フォルダー名は、日付毎に作成されます。

100608
年 月 日

4

再生する**ファイル**を選びます。

項目選択

ページ切替

⇓

［**実行**］キーを押す。

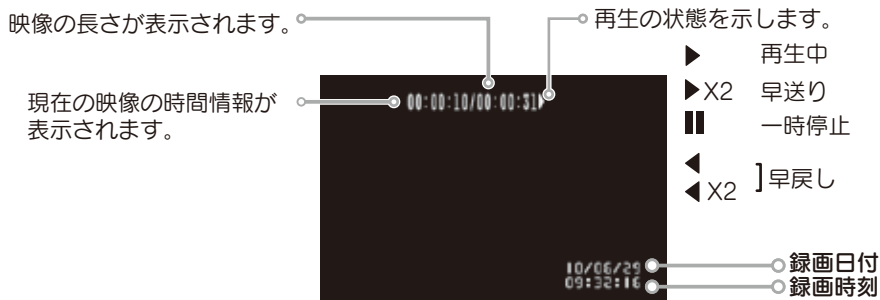
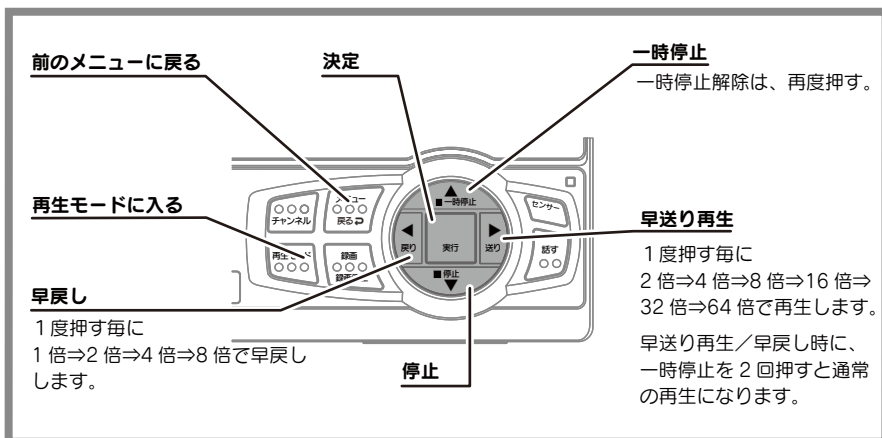
- ファイル名は、録画開始時刻で作成されます。
- ファイル名末尾はチャンネル No.

181103_1
時 分 秒 ch

- 再生中は、SD カードを絶対に抜かないでください。
- 録画ファイルが上書されると、録画ファイル表示の順番が変わります。
- 再生中は画像、音声、信号等の通信が止まっている状態です。

機器の使い方

録画した映像を再生する。

再生画面の説明

再生モード時のキーの機能

重要

● 録画時の電波の状態によっては、再生画像が止まって見える場合がありますが、異常ではありません。

SDカードに保存された映像を、パソコンで閲覧することができます。

録画したファイルは、AVI形式でSDカードに保存されます。
AVI形式のデータなので、SDカードのデータをパソコン上で閲覧 / 保存等が可能です。
※閲覧の際は、AVI形式対応の動画再生ソフトをご使用ください。

重要

● SDカードに保存された映像をパソコンでご覧になる場合、SDHCカード対応のカードリーダーをご使用ください。

機器の使い方

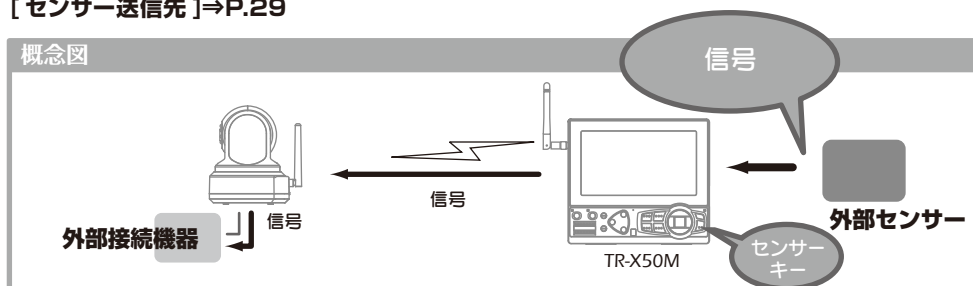
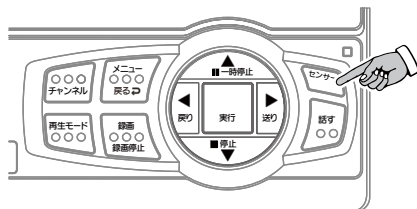
センサー信号送信

送信機側の外部接続機器に信号を送る

手動、或は、**[受信機側に接続された外部センサー]** の信号を受けて、**[送信機側のセンサー端子台に接続された外部接続機器]** に信号を送信する事ができます。

[センサー送信先]⇒P.29

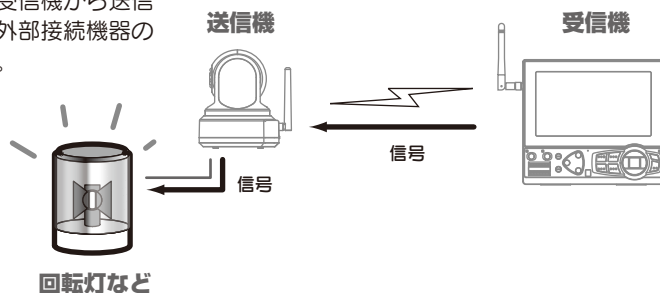
1 **[センサー]** キーを押してください。

重要

- 送信先に指定できるのは、1つのチャンネルのみです。
- 同時に複数のチャンネルには送信できません。

[センサー] キーを押している間、信号が送信されます。
リモコンで操作した場合は、約 1 秒間の信号送信になります。

注意：外部接続機器の動作は、外部接続機器の設定により決定されます。

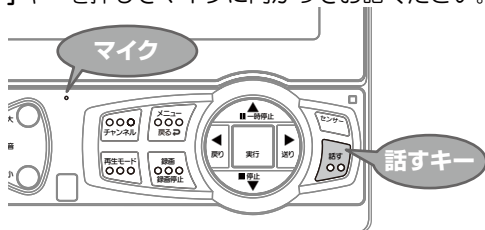
使用例

手動送信を行い、受信機から送信機に信号を送信。外部接続機器の回転灯を作動せる。

会話をする

TR-X50PTC

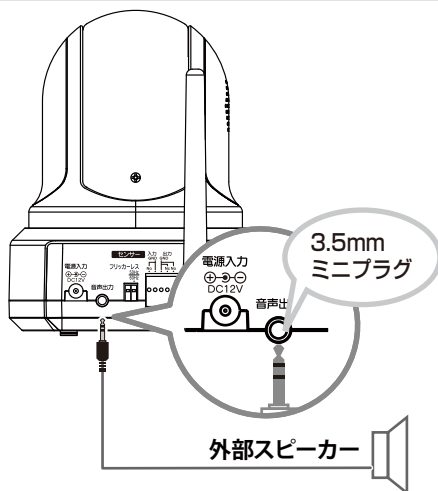
TR-X50T と接続した場合、双方向での会話が可能です。

（※双方向で同時に話すことはできません。）

[話す] キーを押してマイクに向かってお話ください。

[話す] キーを押さない場合：
送信機側の音声をモニターしています。

[話す] キーを押した場合：
TR-X50M側の音声が送信機側に送信されます。
送信機側の音声はモニターされません。

外部スピーカー

TR-X50PTC は、内蔵スピーカー以外にも、音声出力端子を利用して、外部スピーカーの接続が可能です。

！ 重要

外部スピーカーを接続した場合は、内蔵スピーカーは使用できません。

※外部スピーカーはアンプ内蔵の製品をご使用ください

会話機能表	TR-X50T	TR-X50WCP	TR-X50PTC
受信機側で音声モニター	△ 外部マイク、または、マイク内蔵カメラ（別売）が必要。	○	○
双方向の会話	△ 外部マイク、または、マイク内蔵カメラ（別売）と外部スピーカーが必要	×	○

応用編

外部機器を接続する

外部機器との連携

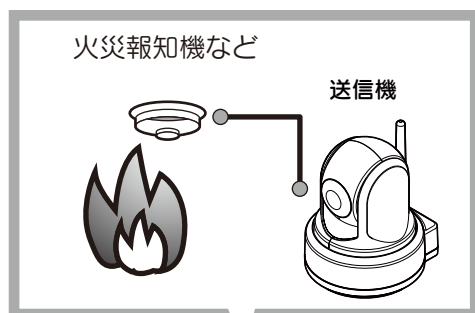
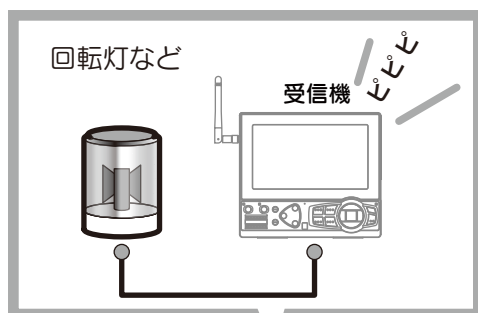
本機器は、**[市販の外部接続機器]** をつなげる事により、活用の範囲が広がります。
外部接続機器と関連した機能は、下記の機能です。

- 送信機側に接続したセンサー、警報器の信号を受信し、録画を開始する。 **⇒センサー録画設定　P.25** **⇒センサー録画時間　P.26**
- 受信機側より信号を送信し、送信機側に接続された外部機器を動作させる。 **⇒センサー送信先　P.29**
- 送信機側に接続したセンサー、警報器の信号を受信し、受信機に接続した外部機器を作動させる。 **⇒外部出力　P.28** **⇒外部出力時間　P.30**
- 送信機側に接続したセンサー、警報器の信号を受信し、受信機のブザーを鳴らす。 **⇒ブザー鳴動　P.31**

応用例　火災報知機と回転灯を導入した例

設置場所：離れた納屋等に設置
設置目的：離れた場所から不審者、火災の両方を監視する。

1・ 不審者監視
不審者が近づくと、カメラ内蔵のモーションセンサーで検知
⇒SDカードへ録画　（センサー録画）
ブザー鳴動　（ブザー鳴動）

2・ 火災監視
火災を検知すると火災報知機が発報
火災報知機からの信号⇒カメラを経由⇒受信機⇒回転灯
⇒回転灯作動　（外部出力）
ブザー鳴動　（ブザー鳴動）

母屋

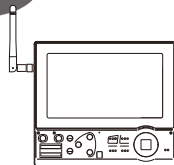
納屋

応用編

複数の送信機を接続する。

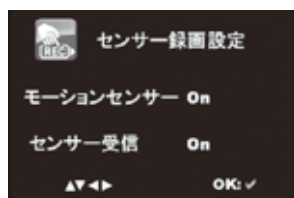
本製品は 4 台までの送信機を接続することが可能です。但し、同時に複数チャンネル（4 分割画面含む）の録画はできません。複数チャンネルの録画をする際は、モーションセンサー、または , 外部センサーからの信号を受けて録画する設定をお勧めします。

使用例

1ch TR-X50WCP：内蔵モーションセンサー使用
2ch TR-X50PTC：内蔵モーションセンサー使用
3ch TR-X50T：（外部カメラ、外部人感センサー併用）
を使用し、信号受信時のみ録画を行う。

システム構成図

使用例による、設定 / 操作手順

1.
ch1/ch2 の
［モーションセンサー］
をONにする。

2.
センサー録画設定内の
［モーションセンサー］
/ **［センサー受信］**を
ON にする。

3.
［センサー録画時間］
を設定する。

※録画中は他チャンネルからのセンサー信号を検出できません。

4. ライブ画面に戻り、**［警備モード］**を ON にする。

※警備モードを ON にするとモニターの画面は、4分割画面になります。